

久宮衛庶第3331号

令和3年1月13日

東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長 小早川 智明 様

久喜宮代衛生組合
管理者 梅田 修



東京電力福島第一原子力発電所事故に起因する一連の対策に要した費用
(令和元年度まで支出分)の請求及び要望について

平成23年3月11日に発生した福島第一原子力発電所事故から間もなく10年が経過しようとしています。

これまでの間、本組合では、福島第一原子力発電所事故による放射性物質の外部への放出に係る対応として、域内住民の安全安心を確保するための取り組みを実施してきたところです。

これらの取り組みは、組合構成市町(久喜市、宮代町)から支出される負担金を原資として実施をしておりますが、この負担金は、域内住民の皆さまにご負担をいただいた税金からなるものです。

本来、これらの取り組みに要した費用は、この事態を招いた貴社の責任のもと全て負担されるべきものと考えざるを得ません。

このような考え方にに基づき、平成24年7月に初めて請求を行って以降、事故の発生当初から平成30年度末までに支出をした費用について、請求を行ってきました。

貴社からは、平成25年2月以降それぞれお支払いを受けているところではありますが、これまで請求を行った額の全てとはなっておりません。

本書面においては、新たに平成31年4月1日から令和2年3月31日までの間に実施をした対策費用について別紙1の通り請求をするとともに、これまでの未払い分について別紙2の通り請求をいたします。

このほか、本組合が支出をした費用全額のお支払いに関する要望はもとより、域内住民のさらなる安全安心を確保する取り組みを貴社が行うことを要望いたします。

貴社の誠実なるご対応をお願いいたします。

別紙 1

東京電力福島第一原子力発電所事故に起因する対策に要した経費
 【令和元年度（平成31年4月から令和2年3月末まで）支出分】

(単位：円)

経費の内容	支出金額	国庫補助金による 補填を受けた額	差引（請求額）
放射性物質濃度測定	535,680	0	535,680
合 計	535,680	0	535,680

※今回の請求額：535,680円

東京電力福島第一原子力発電所事故に起因する対策に要した経費
 【過年度（平成23年3月から平成31年3月末までの支出のうち、貴社未払分）】

(単位：円)

請求年度	経費の内容	支出金額	国庫補助金による 補填を受けた額	差引 (初回請求額)	前回までの 支払額	差引 (今回請求額)
平成23年度	放射性物質検査 うち、放射性物質に係る説明会への出席旅費	2,434,325 4,100	535,500 0	1,898,825 4,100	1,894,725 0	4,100 4,100
平成23年度	給与費（時間外勤務手当）	1,821	0	1,821	0	1,821
平成23年度	給与費（その他）	34,510	0	34,510	0	34,510
平成24年度	給与費（時間外勤務手当）	14,944	0	14,944	0	14,944
平成25年度	放射性物質濃度測定	13,650	0	13,650	0	13,650
平成27年度	放射性物質濃度測定	27,000	0	27,000	0	27,000
平成28年度	放射性物質濃度測定	14,580	0	14,580	0	14,580
平成29年度	放射性物質濃度測定	14,688	0	14,688	0	14,688
平成30年度	放射性物質濃度測定	14,580	0	14,580	0	14,580
	合 計	2,570,098	535,500	2,034,598	1,894,725	139,873

※今回の請求額：139,873円